

TOHATSU

PARTNER

2013年4月1日発行 / 春号

VOL.89



Photo : 2013ジャパンインターナショナルボートショー(トーハツ出展ブース)

CONTENTS

- 各都道府県に人員輸送車を納車完了 P2
- 東京都板橋区青年優秀技能者・技術者表彰 P3
- 群馬県妙義神社に TRC- I M-30B 納入 P3
- 尾張徳川家の菩提寺にポンプ納入 P3
- 2013 ジャパンインターナショナルボートショー P4
- 関西地区船外機サービスパイロット店技術講習会 P4
- マリン関東・東北地区パイロット店講習会 P4
- 四国中央市「GH140AM」納入 P6
- 「救急資器材展 2013 in 岡山」開催 P6
- 和歌山市「VF53AS」搭載消防車納入 P6
- 宇木市「VC72BS」10 台一括納入 P7
- 大分市へ「VC72BS」11 台一括納入 P7
- 東北 / 防災・減災ソリューションフェア出展 P7
- 消防庁消防大学校に濃煙熱気訓練装置納入 裏表紙

各都道府県に 人員輸送車を 納車完了

昨年、総務省消防庁様より受注をいただいた、人員輸送車47台の納車が無事完了致しました。

今回は、北は北海道から南は沖縄まで、各都道府県に1台ずつと、全国に配置されています。

車両はマイクロバスをベースに、無線機や赤色警光灯など備え、緊急走行が可能な車両となっております。車両後部には収納スペースを確保

し、車内や現場で扱える資機材なども積めるようになっています。また車両上部にも資機材や物が積めるようにルーフラックを設置。ルーフラックには左右に作業灯を付け、夜間時にも活動ができるようになっています。

車内にはプライバシーガラスやカーテンを設置し、座席もリクライニング式で、救援隊の方への配慮もされています。また、車内シートは隊長を囲んでミーティングができるようなシート配列にもなっています。

納車先では、「乗り心地が良いですね」「こういった人をたくさん乗せられる車両がなかったので、ありがたいです」等の感想をうかがいました。皆さん、興味津々に車両の説明に耳を傾け、車両に触っておられました。また、「長期間の活動をするには荷物が増えるので、ルーフラックはもう少し積載量があるとありがたい」などの貴重なご意見もいただきました。その他、今回いただきましたご意見は、人員輸送車に関わらず今後他の車両を進める際にも反映していければと考えております。

今回の納車の際に消防の方とお話した中で、一昨年の東日本大震災でも人員輸送車に乗って何百キロもの移動をされたお話をお聞きました。

今回納車した車両が、今後少しでも救援隊の方の活動のお役に立てばと考えております。

今回ご採用いただきました総務省消防庁様に深く御礼を申し上げます。また、納車にあたり、ご協力いただきました各関係業者様にもあわせて御礼を申し上げます。

(積載車プロジェクト/桑澤)



【主な仕様】

エンジン：ディーゼルトターボ

ミッション：6速AT

駆動：後輪 2輪駆動

燃料：軽油

乗車定員：21名

高さ：630cm、幅：203cm、高さ：295cm

装備：ナビ、オートエアコン（フロント、リア）、バックモニター／カメラインバーター（AC150W）、ルーフラック／昇降用梯子 無線機、赤色回転灯／点滅灯 等

【関係業者様】

(株)ケイショウ車体様、静岡電話工業(株)様、
トーハツ特約販売店様、トヨタ自動車各販売店様

東京都板橋区

青年優秀技能者・技術者表彰
〔東京商工会議所板橋支部〕

川崎・宮下両氏が晴れの受賞

東京商工会議所板橋支部（会長／吉村健正氏）の平成 25 年新年賀詞交歓会が、去る1月28日、来賓者多数出席のもと東京・池袋のホテルメトロポリタンで開催されました。

第一部（式典）の中で第6回目を迎えた板橋青年優秀技能者・技術者表彰が行われ、トーハツから技術部の川崎直彬^{なおあき}氏、駒ヶ根工場の宮下孝志氏がめでたく受賞。板橋区の優秀技能者・技術者の榮譽に輝きました。

この表彰は、製造業に従事する優れた青年技能者や技術者を讃えることで、技能者・技術者としての誇りと意欲を高め、将来、板橋区の産業基盤を支える後継者として一層の技能・技術の向上を図ろうとするものです。この度表彰された両氏は船外機の開発、可搬消防ポンプの製造に携わっており、高品質の製品を供給すべく日々の研鑽に努めています。

閉会后、トーハツ金子社長や矢内常務らと記念撮影。喜びを囁みしめていました。

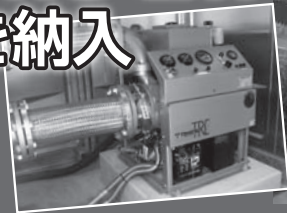
この度の受賞、誠にありがとうございます。

（総務部／千葉）



■金子社長、矢内常務、山崎工場長とともに記念撮影
■左から3人目：川崎直彬さん（技術部）
右から2人目：宮下孝志さん（駒ヶ根工場）

群馬県妙義神社に TRC-IM-30B を納入



去る2月28日、群馬県妙義神社にて TRC-IM-30B の納入に伴う文化庁の立会検査が行われました。

妙義神社は妙義山の主峰白雲山の東山麓にあり、日本武尊を祀る神社です。本殿、幣殿、拝殿は権現造の構造で、随所に彫刻が見られ、全面に漆塗、彩色を施した華麗な建物。総門は古式な三棟造の構造で、江戸時代後期の八脚門の代表的な遺構です。昭和56年6月5日には、国指定重要文化財に指定されています。

その妙義神社に、今回、2台の TRC-IM-30B が納入されました。本殿側の1台は、元々 TRC-I型が設置されていたものを今回更新、もう1台は総門側に新規に設置されました。

当日は、静寂な神社に、迫力のあるエンジン音とともに放水銃より勢いのある水が放たれました。防火体制に問題はなく、立会検査は無事に終了しました。

この度、納入の際にご尽力いただいた東京物産（株）様及び設備業者様には、厚く御礼申し上げます。

（防災中央／小鷹）

尾張徳川家の菩提寺に ポンプ納入



愛知県瀬戸市定光寺町にある「定光寺」。

あまり知られていませんが、当寺院には名古屋城初代城主にして尾張徳川家藩祖である徳川義直（源敬公）の墓所があり、尾張徳川家の菩提寺となっています。

このたび、「定光寺」と「源敬公廟」に、当社のリモートポンプ TRC-IM-30B を納入させていただきました。

定光寺は名古屋市街から車で約1時間の位置にあり、周辺の公園は紅葉の名所として人気でシーズンには多くの観光客で賑わいます。

地元の人気スポットを、当社のTRCはこれからも力強く守ってくださることと思います。

（防災中部／福田 厚）

定光寺／源敬公廟（げんけいこうびょう）

定光寺は尾張徳川家の菩提寺。紅葉の名所でシーズンには多くの観光客で賑わう。名古屋市外を一望でき夜景スポットとしても人気。近辺にはキャンプ場や溪谷、はたるの里など、自然を満喫できる。本堂が重要文化財。

源敬公廟は尾張徳川家藩祖徳川義直の墓所。義直は家康の第九子であり初代名古屋城主。江戸時代の中国風意匠建築物として貴重で、重要文化財に指定されている。

2013 ジャパンインターナショナル ボートショー in パシフィコ横浜



毎年恒例のマリン業界一大イベント、インターナショナルボートショーが春のうららかな陽気の中幕を開けました。

今年のトーハツブースは久しぶりの新艇がボートショー会場でデビューとなりました。期待のニューモデル、TFW-23/25R の2艇に加え、定番モデルの TF-250SC 及びレース艇の計 4 艇を展示。TFW-25R はフルオプションに加えて、GPS 魚探やバウバルビット、オートパイロット等のフルリグ艦装にて出展し、多くの人々の注目的的となっております。

また、ニューモデルのセールスポイントは、何と言ってもマリントイレのオプション取り付けが可能ということ。ハルは定評のある和船をベースにバージョンアップしたのですが、コンソールボックスをデッキスペースを犠牲にしないギリギリまで大型化。これによりマリントイレの取り付けが可能となりました。史上初のトイレ付和船とあり、御客様の評判も上々。シーズンインも間近となり、好感触を得ました。

さらに、エンジン部門にも参考出品ではありますが、ニューモデルの 4 ストローク 50 馬力が展示され、御客様の熱い視線を浴びておりました。

大阪府
大阪市

関西地区船外機サービスパイロット店 技術講習会を開催

2月26日に、関西地区の西は広島、北は日本海（鳥取）より各パイロット店様にお集まり頂き新大阪のホテル会議室にて第3回関西地区船外機サービスパイロット店技術講習会を開催致しました。

全12店中8店9名にご参加頂き MFS25/30B パワーヘッドを用いての分解・組立を実践講義、ポイント毎に実例も上げての講義に受講者の眼差しも真剣そのものでした。

日頃から販売・メンテナンスに従事されている方々でするので皆が手を動かし始めるとあっという間に分解され元通り組立てられる光景には「さすがプロ」と関心させられるばかりでした。

また、質疑応答の時間には現状の問題点や要望などを熱く語って頂き、大変有意義な技術講習会を執り行うことができました。

ご多忙の中にご参加頂きましたパイロット店様には心より感謝申し上げます。

また、ご講義いただきましたサービス室講師2名及びスタッフの皆様、ありがとうございました。



(マリン関西/三好)



マリーナを模した栈橋ステージに横付けされた 2 隻の舟艇に囲まれるように、中心に MFS50A プロトモデル、奥には 4 ストロークの人気機種が勢揃い。また、フロア部分中央には TLDI 直噴シリーズが並べられ、数あるブースの中でも一際目立っておりました。

最終日にはメインステージにてチャリティーオークションが開催され、我が社からは MFS6CDS を提供し、オークションの大トリに登場。盛況のうちに落札されました。

全体の来場者数も減少傾向に歯止めが掛かり、増加に転じました。船外機の成約数も比例する様に増加し、来るべきシーズン開幕に期待のもてるスタートとなりました。

(マリン課/石丸)

本社にて

第3回マリン関東・東北地区パイロット店講習会が開かれる

今回で3回目となり、関東地区・東北地区の併催としては2回目となるサービスパイロット店技術講習会が、去る2月18日に本社特設会場にて開催されました。

今回は2班に分かれて、MFS25/30B パワーユニット部の分解及び組立作業の実技講習と、パワーユニットを構成する一点一点の部品の構造や役割の確認と共に、実践的なトラブルシューティングを交えた内容での実施となりました。

実際の整備作業を想定し、パイロット店同士で作業方法の試行錯誤や、整備作業の経験をフィードバックし合う等情報交換も活発に行われ、アットホームな雰囲気の中で講習会が進んでいきました。

1日という短い時間ではありましたが、今後の実務に役立てていただけるような内容の濃い講習会だったとご好評をいただきました。

ご多忙の折、ご参加いただきましたパイロット店の皆様には厚く御礼申し上げます。

(マリン関東/飯島、マリン東北/木村)



愛媛県四国中央市

グループホーム向け GH140AM を納入



このほど、愛媛県四国中央市の住宅型有料老人ホームまんなかへGH140AMを設置しました。

住宅型有料老人ホームまんなかでは、設計段階でGH140AMの仕様を入れていただき、納入となりました。工事は3階建ての元ホテルを改造し、地下部分へポンプを設置。ポンプの設置工事は12月19日に完了し、試運転を行いました。

試運転の日は雪の舞う寒い日でしたが、停電時でも送水可能な点と、LPGを燃料とした4ストロークエンジンの始動性と低騒音が好評でした。

販売にご尽力頂きました(株)ヤマダ様には、誌上より厚く御礼申し上げます。

(防災関西/田村)

「救急資器材展2013 in 岡山」開催

救急関連のプロツールを展示

去る2月3日(木)～4日(金)に、第21回全国救急隊員シンポジウム開催に併せ、岡山コンベンションセンターにて「救急資器材展2013 in 岡山」が開催されました。シンポジウム参加者は6,259名。

今回の資器材展は、シンポジウムと同施設での開催かつ新幹線駅から徒歩数分というアクセスの良さもあり、大盛況の結果となりました。

当社は、救急用資器材(高耐久EMSバッグ、バックボード用緩衝材、バックボード用感染防止カバー、CSR用要救助者観察キット、イス形担架、GOストレッチャー、傷病者確保帯・ハンド-E、自着性救急包帯/バンテージ)を中心に、隊員用装備(Go-Pro HERO3カメラ、レザーマン・マルチツール、STREAMライト、肘・膝用パッド)を展示いたしました。

特にEMSバッグは、従来にない高耐久性と分解して洗える特長が目を引き、数件のデモ依頼を受け、カメラ・マルチツール・ライト・包帯(バンテージ)など受注もいただく結果となりました。

次回は北九州市での開催予定となります。

(防災営業部/友田)



去る2月15日、和歌山市へ軽4トラック型消防車3台、デッキバン型消防車4台の納入式が執り行われました。

当日は、和歌山市長も出席され、納入式は盛大に行われました。

積載ポンプは、すべて4ストロークVF53ASを搭載。式典中の試運転では、音の静かさに驚きの声が上がりました。

この度の納入に際し、4ストロークポンプをご採用いただきました和歌山市様、また販売にご尽力頂きました(有)和歌山防火協会様には、誌上より厚く御礼申し上げます。

(防災関西/山口)

熱意ある意見交換

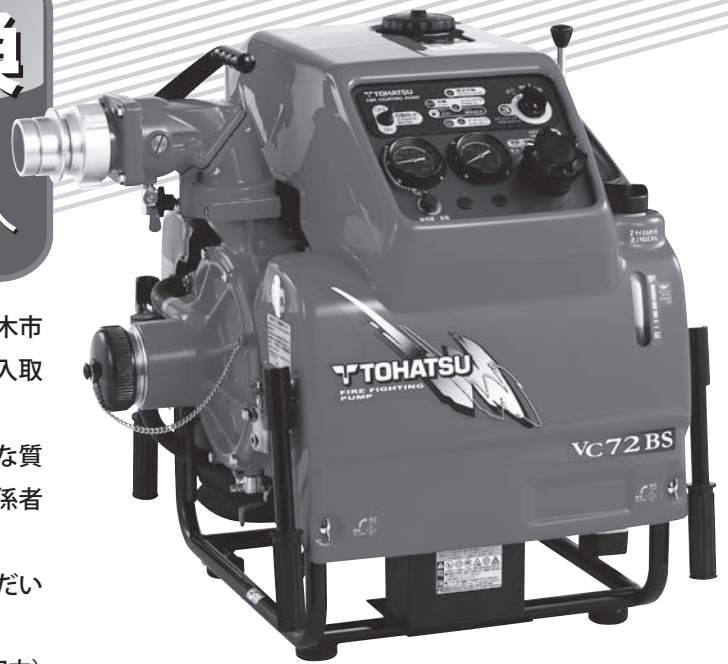
熊本県宇木市へ
「VC72BS」10台一括納入

可搬消防ポンプ VC72BS10台が、去る12月2日、熊本県宇木市に一括納入され、同日、宇木市役所で関係者出席のもと、納入取説が行われました。

2班に分かれての消防団員に向けた取扱い説明では、様々な質問や意見が出され、その熱意には係員も圧倒されました。関係者の防災意識の高さをうかがい知ることができた一日でした。

ご採用いただいた同市の消防関係者及び販売にご尽力いただいた三輝物産(株)様には厚く御礼申し上げます。

(防災九州/田中)



最新式ポンプに驚きの声
大分県大分市へ「VC72BS」11台

一括納入



去る2月21日、大分県大分市に可搬消防ポンプ VC72BS11台が一括納入され、同日、大分市訓練センターにて、関係各位のもと、交付式と納入説明を行いました。

交付式の際、大分市消防局長が、「可搬ポンプは生き物と同じ。日頃から可愛がらないと緊急時に使用できない。日頃から管理を徹底して下さい」と力強く挨拶。

その後、2班に分かれて納入説明を行いました。皆、最新式ポンプの性能に驚いていました。

ご採用いただいた同市の消防関係者及び販売にご尽力いただいた新日本消防設備株式会社様には、誌上より厚く御礼申し上げます。

(防災九州/田中)

宮城県仙台市
災害に強いソリューションを提案
東北/防災・減災
ソリューションフェアに出展



晴天に恵まれた夢メッセみやぎ(宮城県仙台市)で、去る2月27日・28日の両日にわたり、日刊工業新聞社主催による「東北/防災・減災ソリューションフェア」が開催されました。

このフェアは、今も余震が続き、平常の状態から遠い生活の中で復旧作業がなかなか進展せず、将来に向け不安な日々を過ごされている人々が多数いる状況において、東北地区が災害に強い地域になることを願い開催されました。初開催にも関わらず、多くの方々に来場していただきました。

トーハツの主な出展品は4ストローク可搬消防ポンプ VF63AS-Ti と2ストローク可搬消防ポンプ VC72PROII、ポンプオプション品であるRCホッパーやコワレンゾー(中継媒介金具)や灯光器等でした。

このフェアでは、電動無人飛行機を販売している企業からインスタントトイレを販売している企業と幅広い出展者がいましたが、可搬消防ポンプを目にしたことがない一般の方にはトーハツの出展品が珍しく、消防ポンプについて様々な質問がありました。

消防関係者のみならず、多種多様な企業の方々に対してトーハツ可搬消防ポンプの存在の認知度を向上することができ、大変有意義なフェアでした。

トーハツブースにご来場くださった多くの方々に改めて厚く御礼申し上げます。

(防災営業部/程田)

消防庁消防大学校に 濃煙熱気訓練装置MP7型を納入

去る平成24年12月、消防庁消防大学校に濃煙熱気訓練装置MP7型が納入され試運転が行われました。

消防大学校の教育訓練内容の充実を目的に、実践的な火災防御活動時における安全管理能力の向上のための実技訓練（ホットトレーニング）が必要となったことで設置することとなったものです。

実技訓練は、上級幹部科、幹部科、警防科、救助科及び新任教官科の年間約700名が対象で授業の一環として受講することになります。

濃煙熱気訓練装置MP7型の納入で、今まで体験することの難しかった熱気、煙の二層流、フラッシュオーバー（簡易）等が再現できるようになります。これらの再現により、煙の挙動とポジショニングの関係を確認したり、火元からの距離と熱の関係を認識したり、その他の動作判断等を養うことが可能になります。

この訓練装置を使い、多くの方に、火災現場に準じた臨場感を体感していただき、消火技術向上や防災技術向上に役立てていただきたいと思います。

（防災中央／小鷹）



発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 日向 勇美／青山 滋